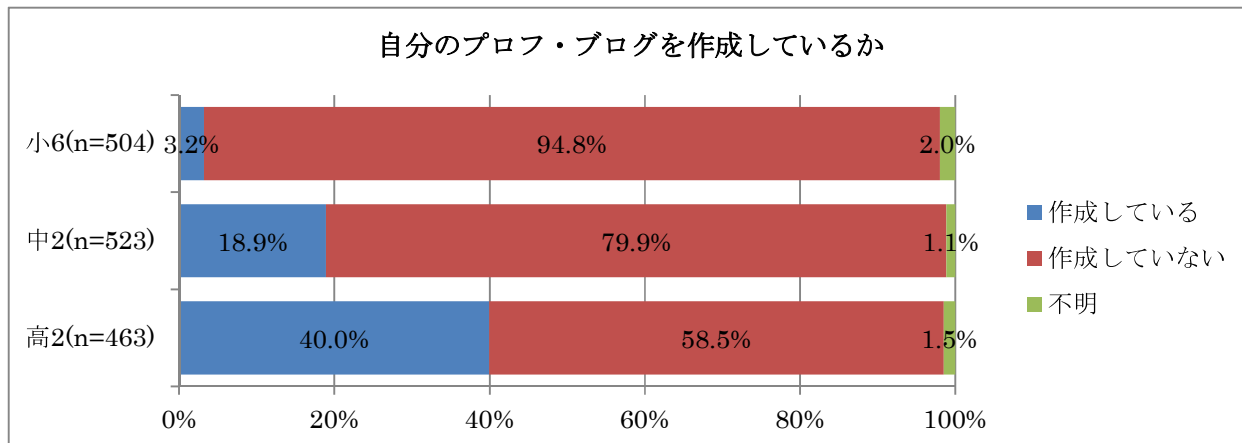


6 プロフ・ブログについて

(1) 児童・生徒によるプロフ・ブログ作成について

【児童・生徒】Q25. あなたは、あなた自身のプロフやブログを作成していますか。



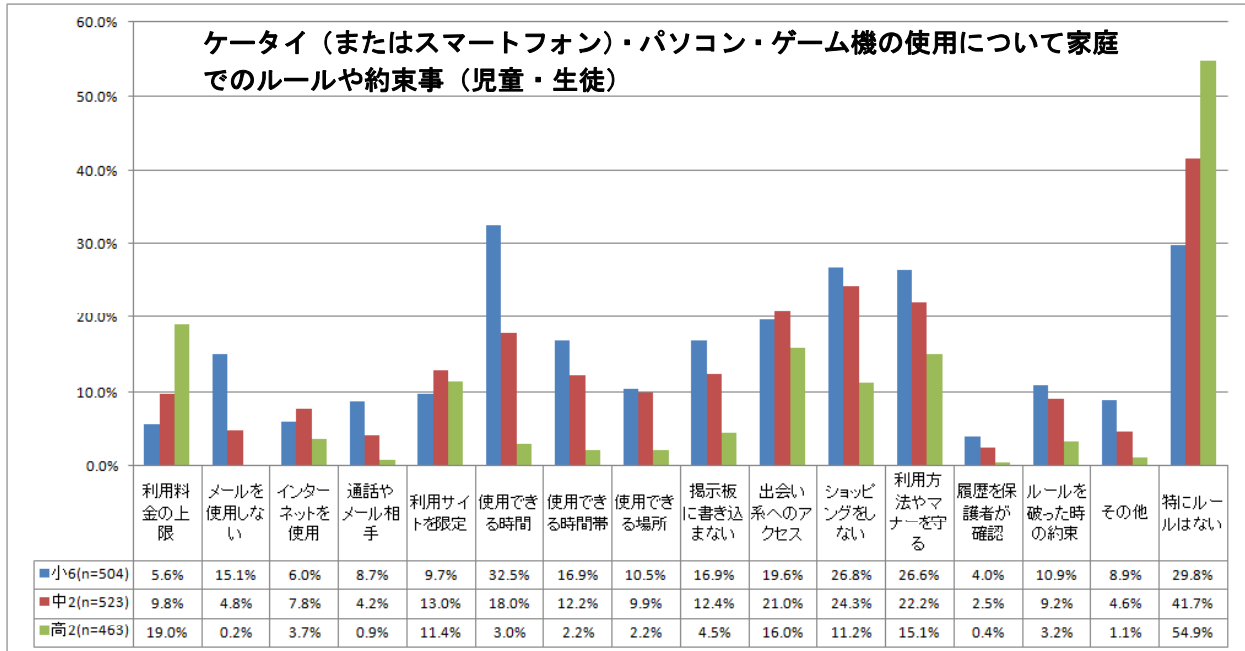
<プロフ・ブログの作成について>

- ・小6では、3.2%と少ないが、中2で18.9%、高2では40.0%もの生徒が自分自身の個人情報をネット上に掲載している。
- ・個人情報が他のサイトに悪用されたり、所在情報から不審者に待ち伏せされる、見知らぬ人から接触され犯罪に巻き込まれることが懸念される。

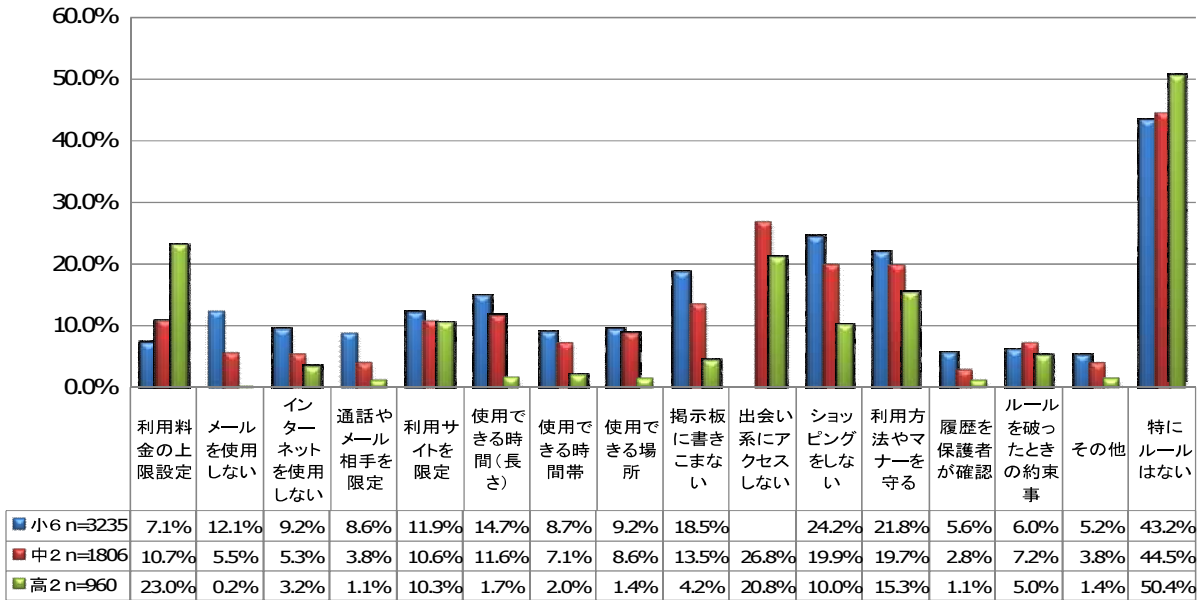
7 家庭でのルール（ケータイ（スマホ）・パソコン・ゲームに関して）

（1）家庭でどんなルール・約束事があるかについて

【児童・生徒】Q26. ケータイ（またはスマートフォン）・パソコン・ゲーム機の使用について家庭でのルールや約束事がありますか。



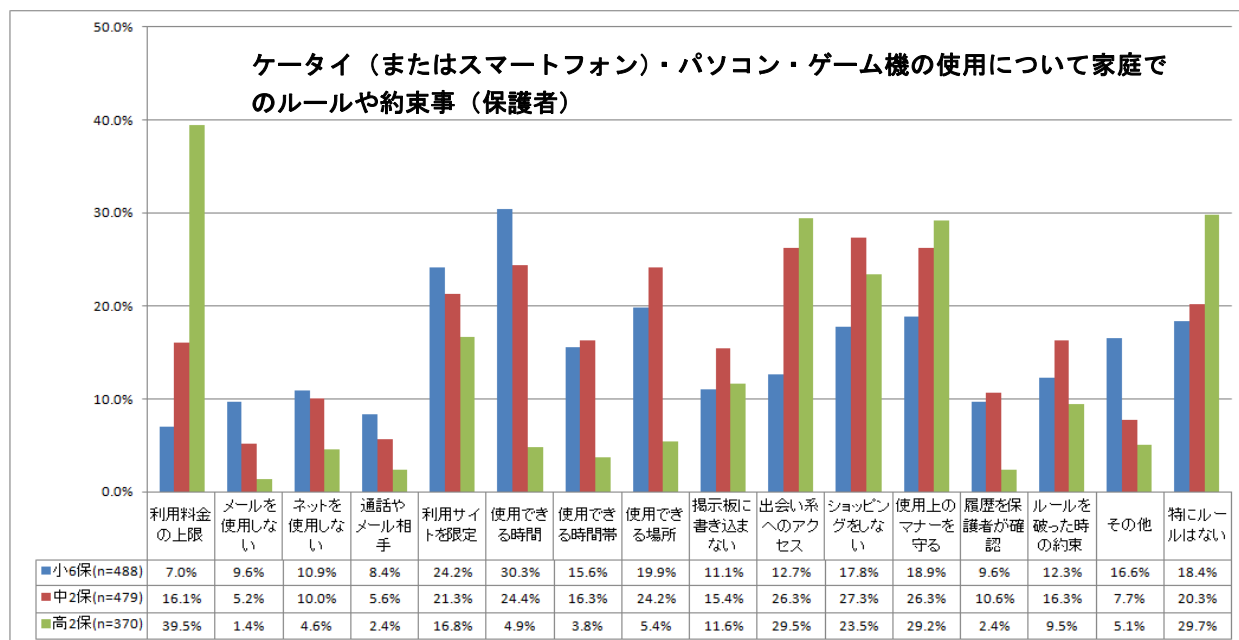
<H21（2009）との比較>



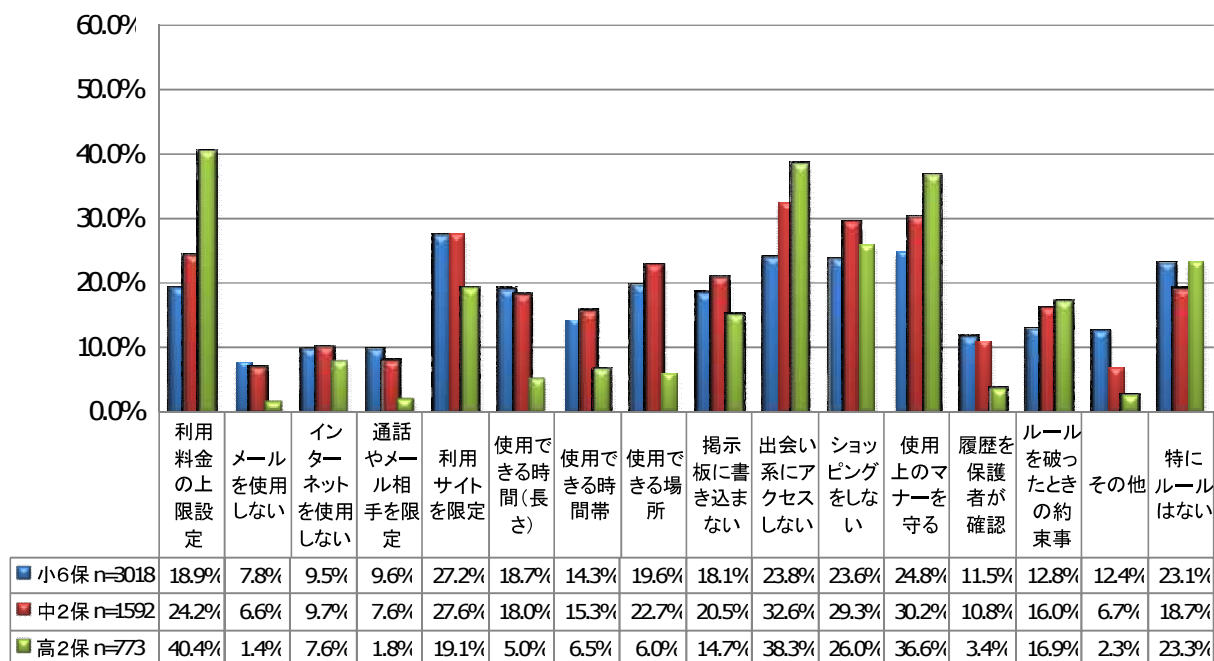
<家庭でのルールや約束事について（児童生徒）>

・前回調査（平成21年度）と比べると、小6で「使用時間（長さ）」が14.7%から32.5%に増え、「特にルールはない」が43.2%から29.8%に大幅に減少するなど、『親子（家庭）でルールづくり』を行う大切さについて、保護者等への教育啓発を継続してきた成果がみられる。

【保護者】Q17. あなたのご家庭では、お子様のケータイ（またはスマートフォン）・パソコン・ゲーム機の使用に何らかのルールや約束事がありますか。



<H21(2009)との比較>

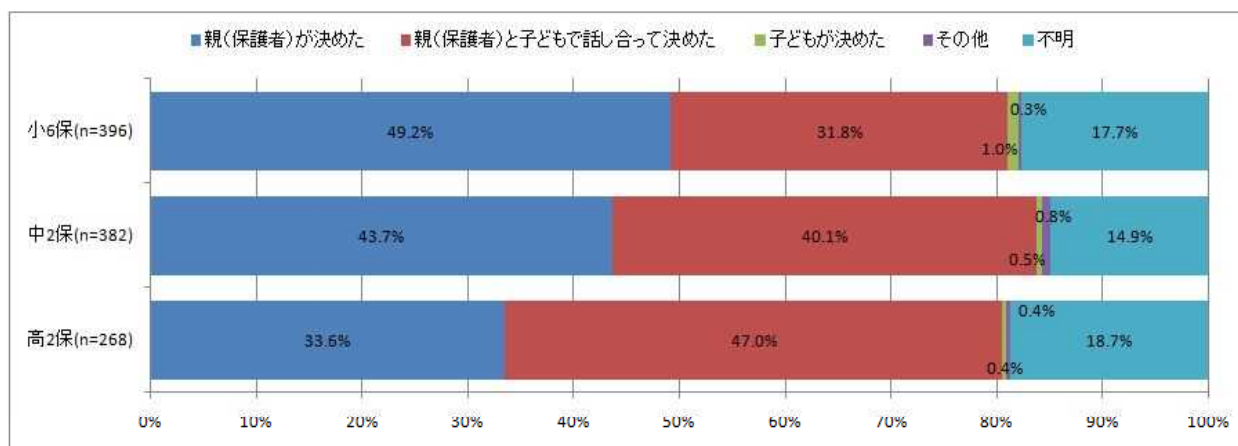


<家庭でのルールや約束事について（保護者）>

- ・前回調査（平成21年度）ほぼ同様の結果である。
- ・前ページの児童生徒の回答数と比較し、保護者の回答数の方がおおむね多い。これは、保護者としてはルールや約束事を定めているつもりでも、児童生徒はそう思っていない場合があることを示している。こうした認識のズレが生じがちなことについても、保護者への啓発が必要である。

(2) ルールや約束事をどのようにして決めたかについて

【保護者】Q18. ルールや約束事は、どのようにして決めましたか。

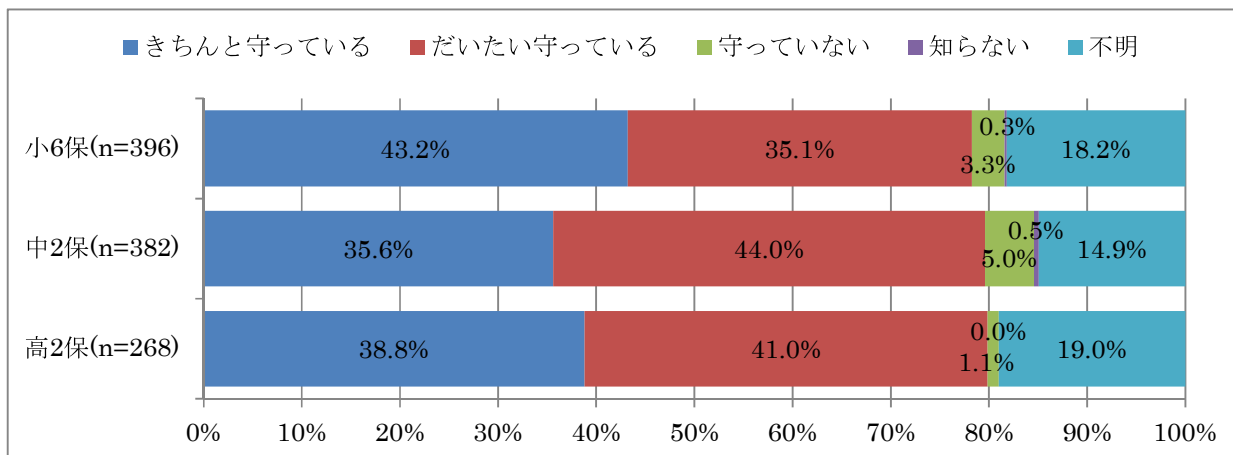


<ルールや約束事の決め方について>

- ・学年が低いほど、「親(保護者)が決めた」割合が高く、学年が上がるにつれて、「親(保護者)と子どもで話し合っ
て決めた」が多くなっている。
- ・まだ子どもが小さいうちは親がルールづくりを主導し、学年が上がるにつれて、子どもの意見も聞き、親と子が協力してルールを決めている様子が見えてくる。

(3) ルールや約束事を守っているかについて

【保護者】Q19. あなたのお子様はそのルールや約束事を守っていますか。



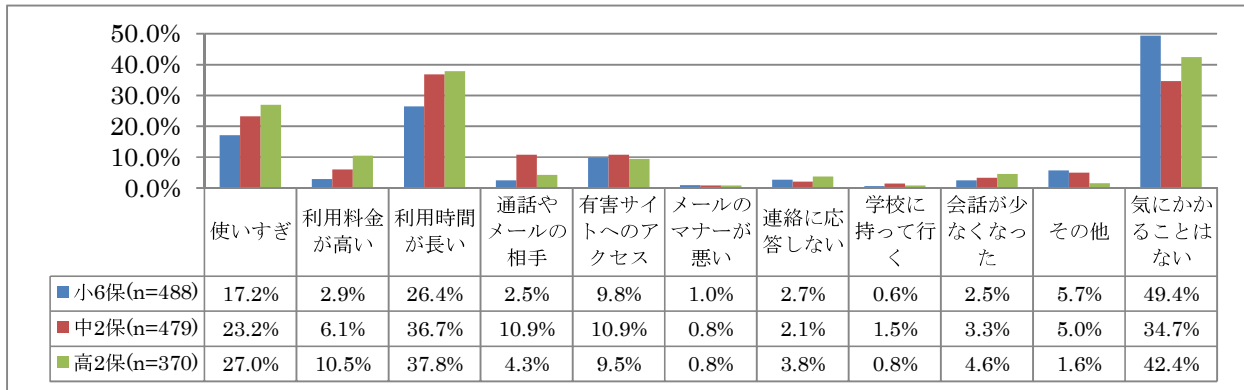
<子どもはルールや約束事を守っているかについて(保護者)>

- ・どの学年の保護者も、約8割が「きちんと守っている」「だいたい守っている」と回答している。
- ・買い与える際に、自宅では使用する場所を居間に限定する、保護者がメールをチェックできることを約束させるなど、保護者が子どもの使用状況を把握して必要な指導ができる手法についても、十分に啓発していく必要がある。

8 インターネット、ケータイ（スマホ）についての意識

（1）インターネット利用について、気にかかることについて

【保護者】Q20. あなたのお子様がインターネット（ケータイ（スマホ）・パソコン・ゲーム機などによる）を利用して、気にかかることは何ですか。

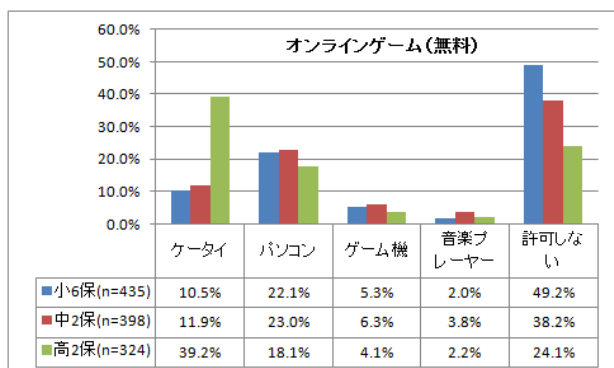
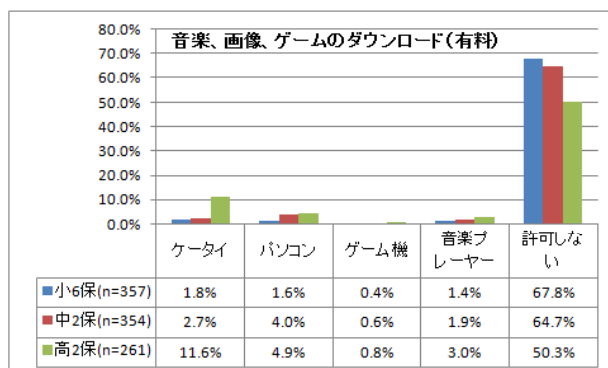
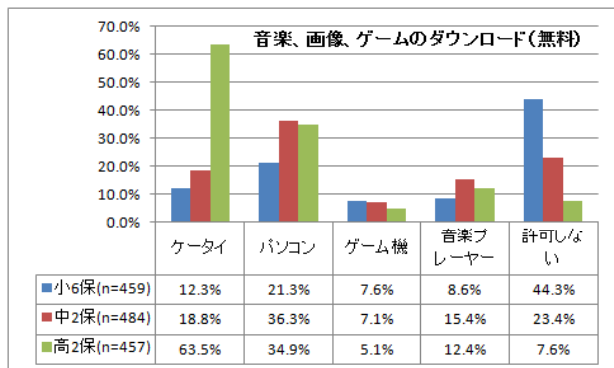
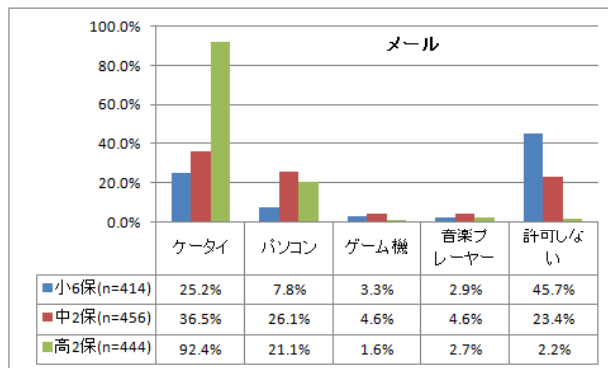


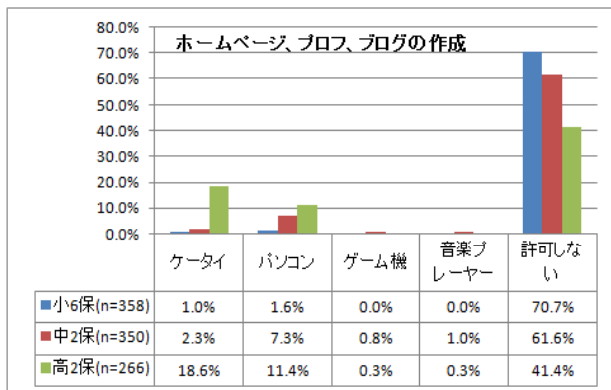
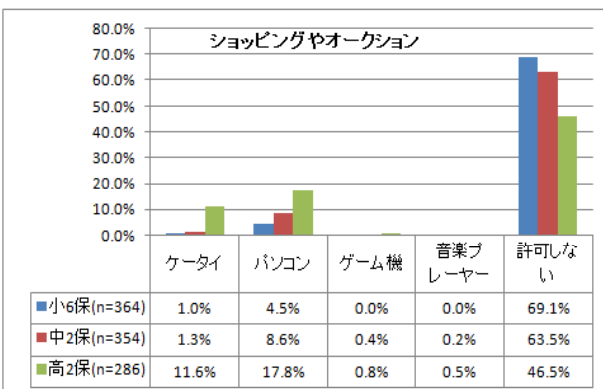
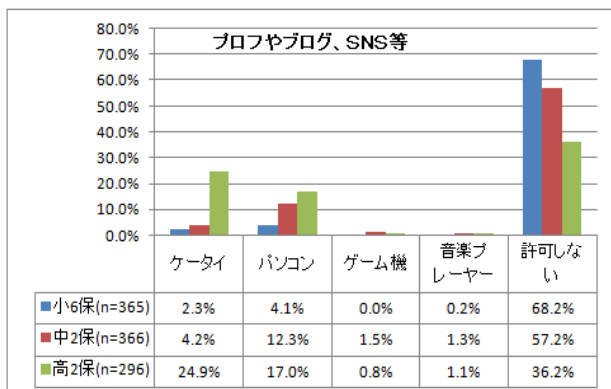
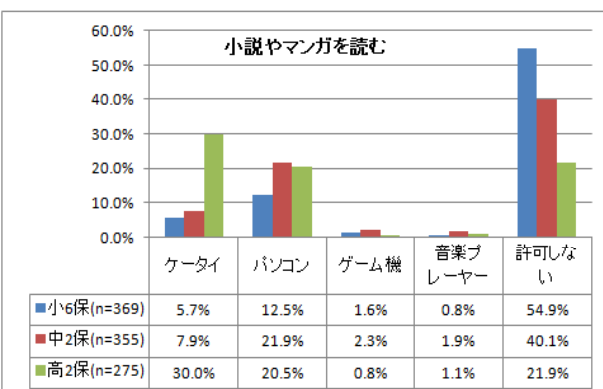
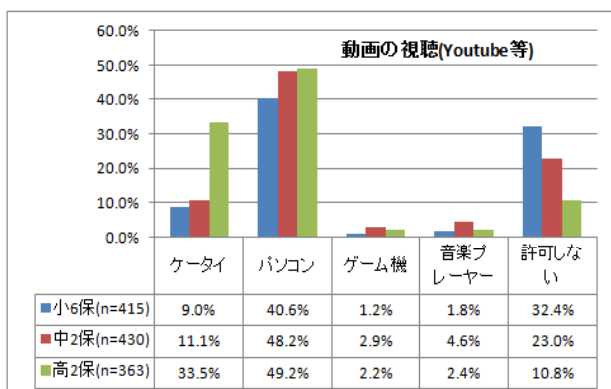
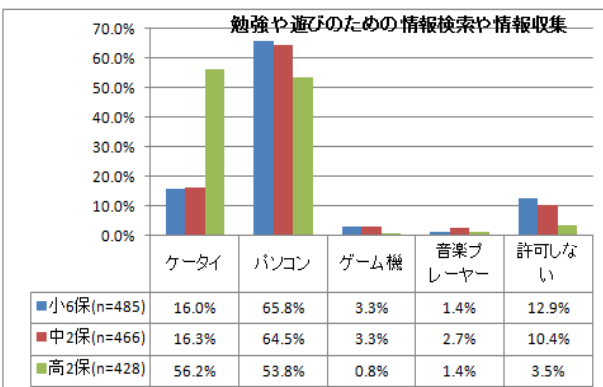
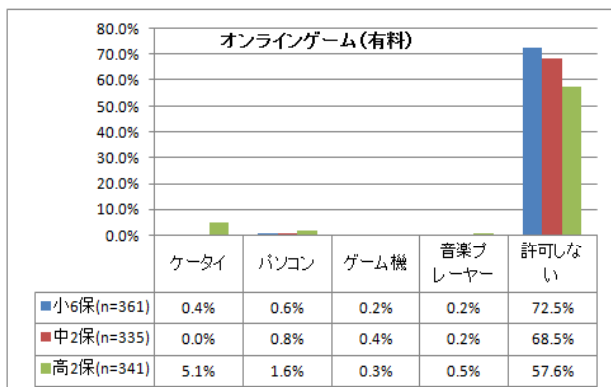
＜インターネット利用について気にかかることについて＞

- ・小6の保護者の約半分は、「気にかかることはない」と回答している。「インターネットの危険性」について、十分に認識されていないことも考えられることから、保護者への啓発をさらに推進する必要がある。
- ・保護者の気にかかることは、「利用時間が長い」「使いすぎ」といった生活習慣への悪影響についての心配である。

（2）利用を許可している内容について

【保護者】Q21. あなたは、あなたのお子様に、ケータイ（またはスマートフォン）、パソコン、ゲーム機（インターネット接続が可能なもの）で、以下の利用を許可しています（します）か。



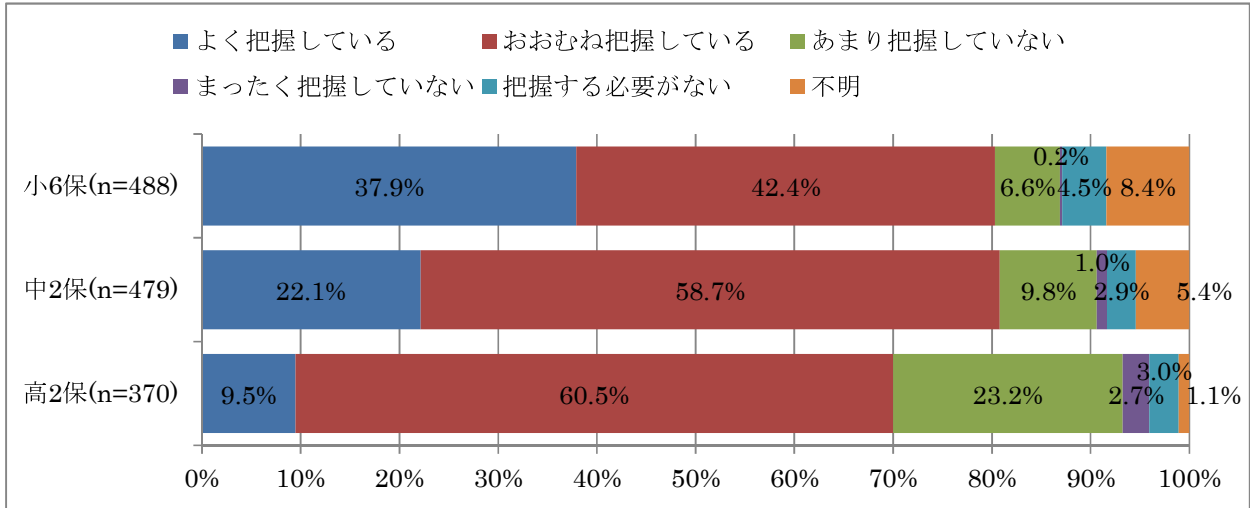


<利用の許可について(保護者の回答)>

- ・「音楽・画像・ゲームのダウンロード」「オンラインゲーム」について、「有料」「無料」で数値が大きく違い、「高額請求の可能性」に敏感なことがうかがえる。
- ・パソコンでは、「勉強や遊びのための情報検索や情報収集」のほか、「動画の視聴」は危険がないものと認識している。

(3) 利用状況の把握について

【保護者】Q22. あなたは、お子様のケータイ(スマホ)、パソコン、ゲーム機(インターネット接続が可能なもの)の利用状況を把握していますか。

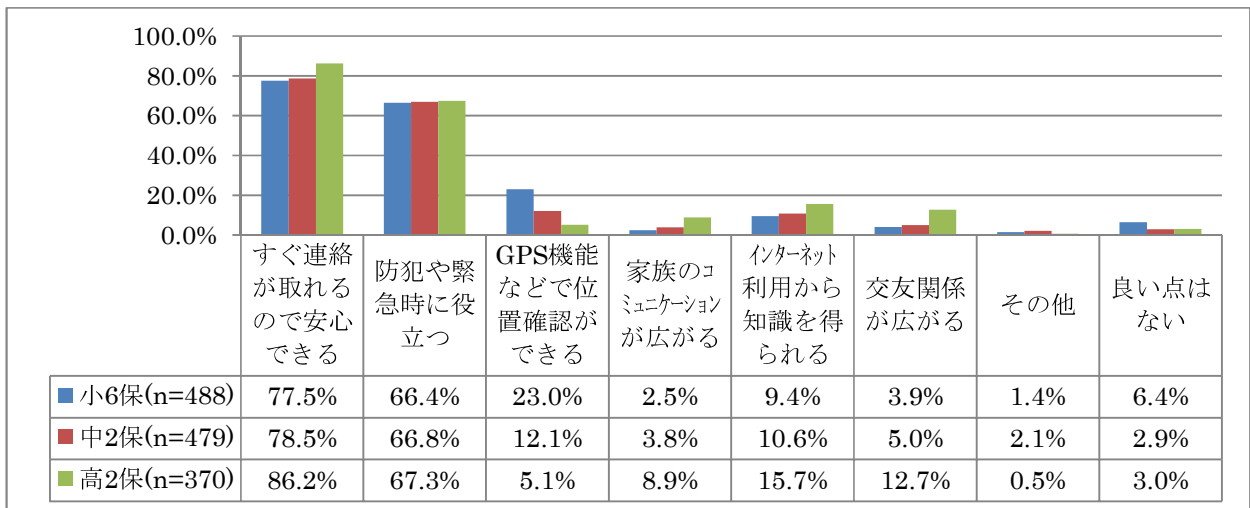


<子どもの利用状況の把握について(保護者の回答)>

- ・「よく把握している」という回答は、小6で37.9%、中2で22.1%、高2で9.5%と、学年が上がるにつれて半減していく状況である。
- ・「おおむね把握している」とあわせると、小6、中2では約8割、高2で約7割であり、保護者は子どもの利用状況をかなり把握しているという意識があることがうかがえる。

(4) ケータイ(スマホ)を持たせる良い点について

【保護者】Q23. あなたは、お子様にケータイ(スマートフォン)を持たせるよい点は、何だと思えますか。

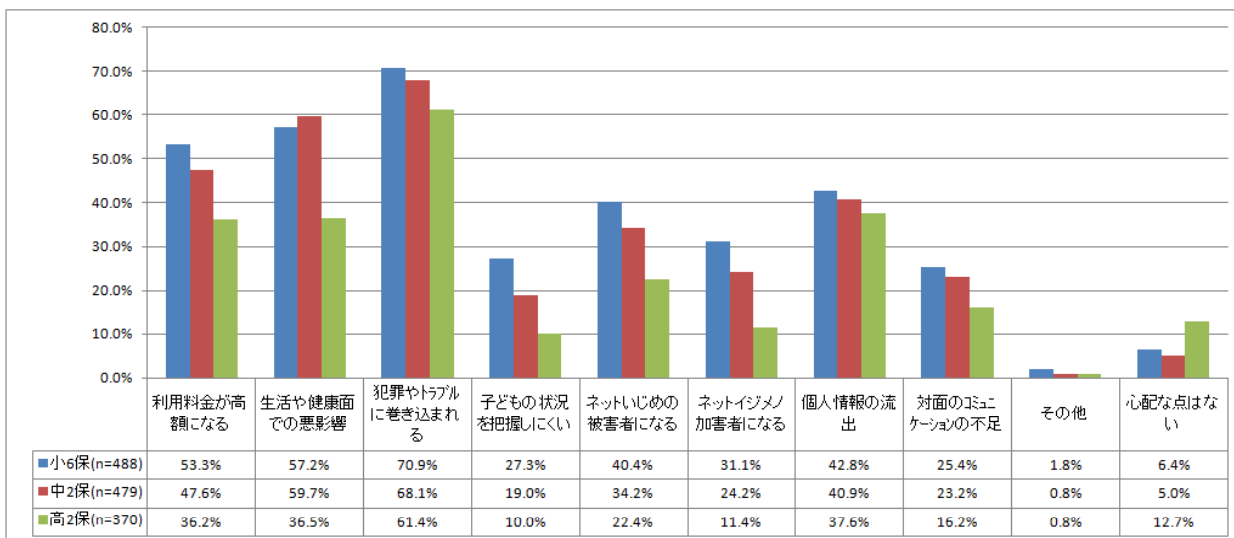


<ケータイ(スマホ)を持たせる良い点について>

- ・小6、中2、高2とも「すぐに連絡が取れるので安心できる」が最も多く、次いで「防犯や緊急時に役立つ」であり、安全安心が得られることが良い点としている。

(5) ケータイ（スマホ）を持たせる心配な点について

【保護者】Q24. あなたは、お子様にケータイ（スマホ）を持たせる心配な点は、何だと思いますか。



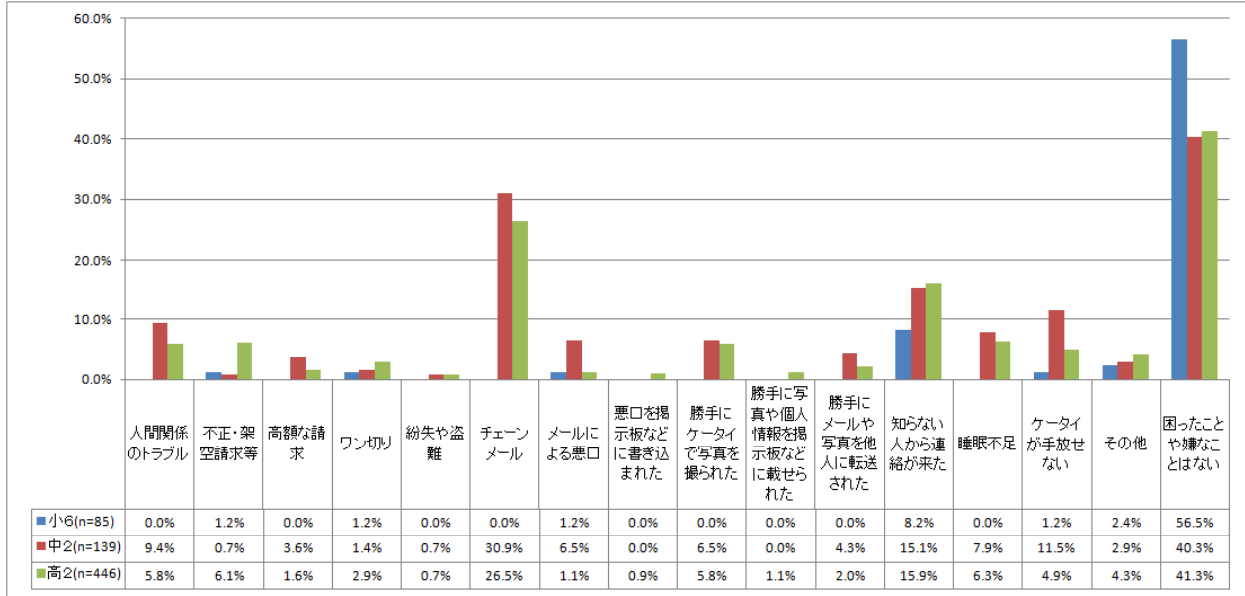
<ケータイ（スマホ）を持たせる心配な点について>

- ・小6、中2、高2とも「犯罪やトラブルに巻き込まれる」が最も多い。持たせる良い点は安全安心が得られるからであり、持たせる心配な点は「安全安心が脅かされる」という家族との連絡に便利だが、他者との連絡にも悪用される危険の両面が認識されている。
- ・次いで「生活や健康面での悪影響」「利用料金が高額になる」「個人情報の流出」「ネットいじめの被害者になる」「ネットいじめの加害者になる」「対面のコミュニケーションの不足」「子どもの状況を把握しにくい」という順で、どの学年もほぼ同じ順となっている。

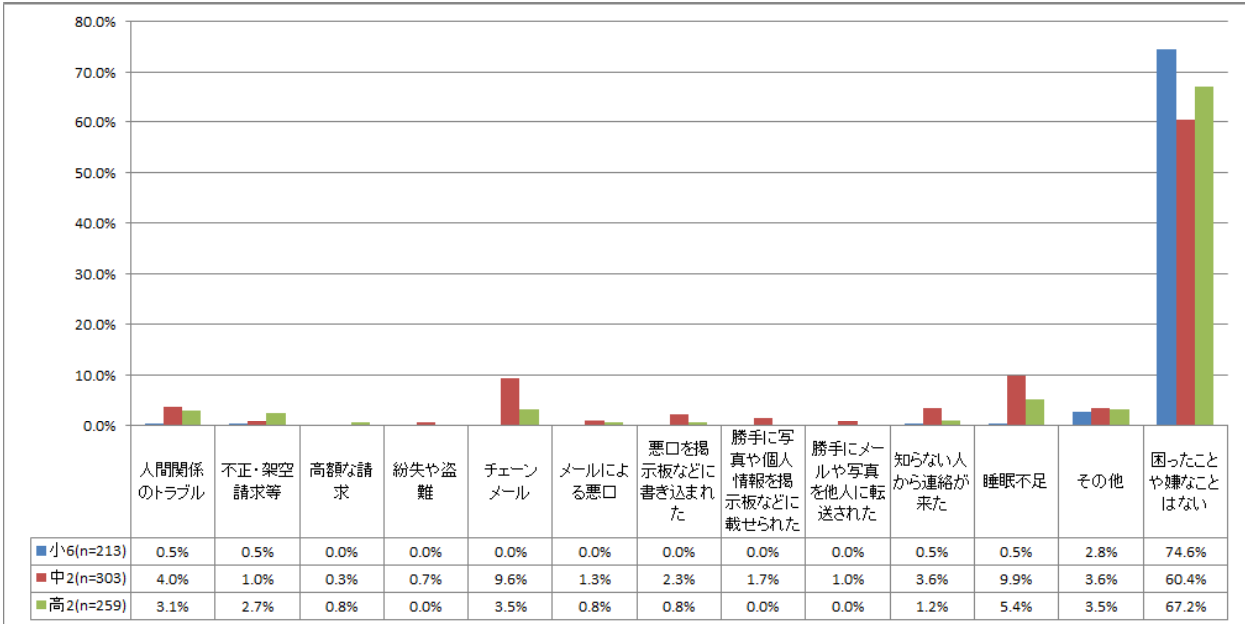
9 ネットトラブル

(1) トラブル経験について

【児童・生徒】Q12. これまでにケータイ（またはスマートフォン）を使って、困った事や嫌な事がありましたか。



【児童・生徒】Q21. これまでにパソコンを使って、困った事や嫌な事がありましたか。

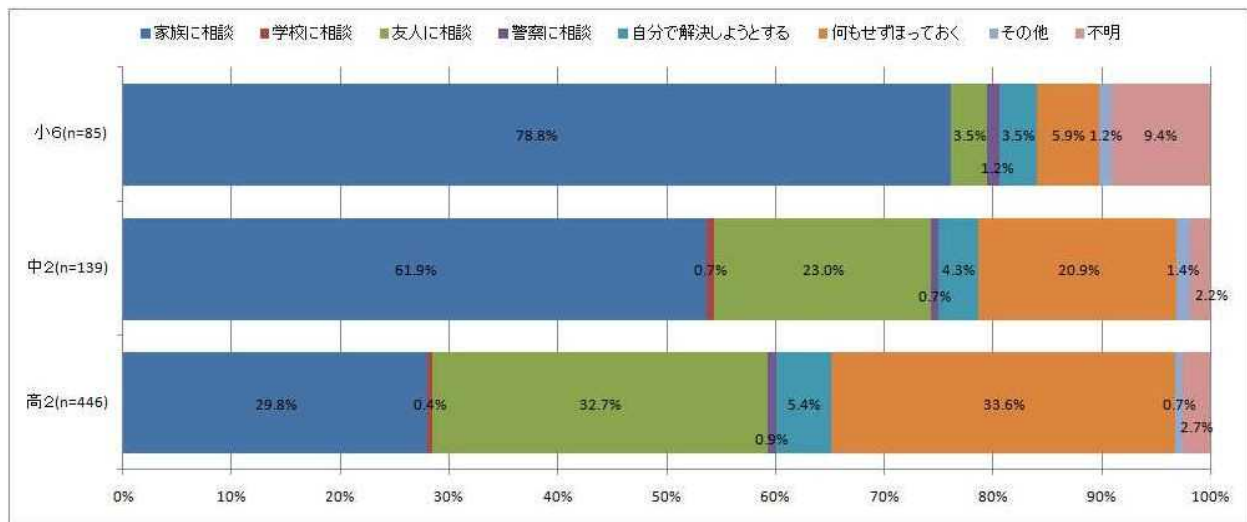


<トラブル経験について>

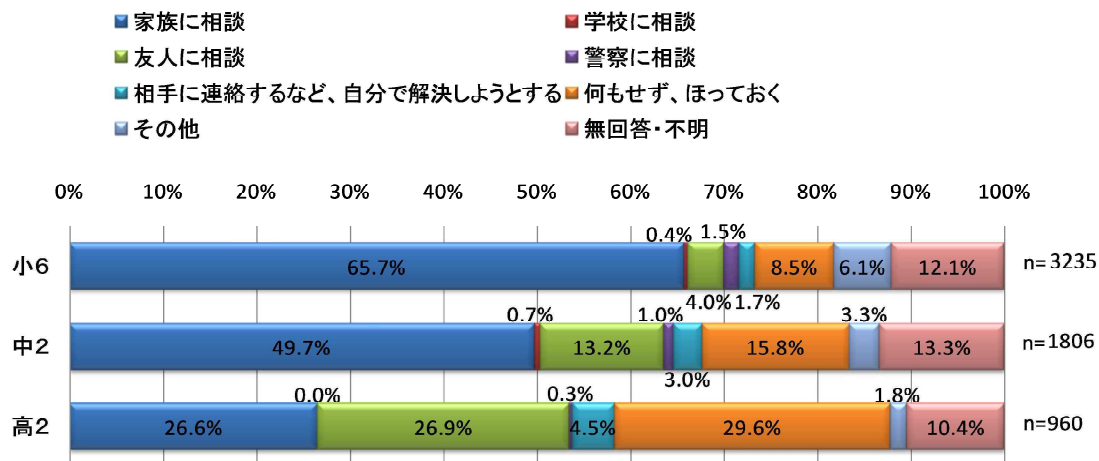
- ・ケータイ（スマホ）とパソコンを比較すると、ケータイ（スマホ）の方がトラブル体験がはるかに多い。
- ・ケータイ（スマホ）でのトラブル経験では、「チェーンメール」「知らない人から連絡が来た」など、他人からの接触があり、また「ケータイ（スマホ）が手放せない」などケータイ（スマホ）依存の可能性のある回答も見受けられる。

(2) トラブルへの対応について

【児童・生徒】Q13. ケータイ（スマホ）を利用して、困った事や嫌な事があったとき、どうしますか。



< H 2 1 (2 0 0 9) との比較 >



<ケータイ（スマホ）でのトラブルへの対応について>

- ・学年別でみると、「家族に相談」は小6では、78.8%、中2では61.9%、高2では29.8%と学年が上がるにつれて少なくなっている。一方、「友だちに相談」は小6では3.5%、中2では23.0%、高2では32.7%と学年が上がるにつれて増えていく。学年が上がるにつれて、相談する相手が「家族」から「友だち」に変わっていくことが分かる。
- ・高2では、33.6%が「何もせずほっておく」と回答している。
- ・前回調査（平成21年度）と比較すると、「家族に相談」「友だちに相談」がどの学年でも増えており、良い傾向といえるが、一方では中2、高2で、「何もせずほっておく」も増えている。
- ・どの学年でも、「学校に相談」は非常に少なく、学校がケータイ（スマホ）でのトラブルを把握することができていない状況といえる。学校としても、ネットパトロールからの情報提供の有効活用など、実態把握を行いながら、生徒の指導に当たる必要がある。